

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

①広島市における課題

- ・ 教育・福祉・医療・労働等の分野の関係機関の連携が取れていない。
- ・ 個別の教育支援計画等が効果的に活用されていない。
- ・ 進学に、支援がうまく引き継がれていない。

②課題を踏まえた目的

- ・ 切れ目ない支援の実現に向けた、個別の教育支援計画等の活用に基づく支援体制の整備



成果

①得られた成果

- ・ 幼、小、中、高の全校種において、巡回相談指導による指導助言を個別の教育支援計画等に反映させて活用
- ・ 研修会等により、個別の教育支援計画等の活用について周知し、各校において実践
- ・ 「意見を聞く会」を開催し、医療的ケアを必要とする子供が進学する際の関係機関や関係学校の連携を充実

②成果を踏まえた今後の取り組み

- ・ 支援体制の継続・充実及び具体的な好事例の普及

事業内容

①医療・保健・福祉・労働等との連携体制

- ・ 特別支援学校だけでなく、地域の幼・小・中学校に通学する医療的ケアを必要とする子供の支援体制について、「自立」の視点を重視したケアの実施のため、医師等からの助言を受けられるよう見直した。

②個別の教育支援計画等を活用した支援体制

- ・ 巡回相談指導の実施
- ・ 特別支援教育推進校における実践事例の研究
- ・ 特別支援教育コーディネーター・管理職対象とした研修会を開催し、研究校の実践例等を紹介

③普及啓発

- ・ 「特別支援教育コーディネーター研修」「国・公・私立の管理職を対象とした講演会」等
- ・ 効果的な取組事例を広島市教育委員会LANシステムに掲載

